

## 九州大学未来社会デザイン統括本部学術推進職（脱炭素ユニット）募集要項

1. 機関名称	九州大学（未来社会デザイン統括本部）
求めるスキル、マインド	<p>未来社会デザイン統括本部「脱炭素ユニット」の教育研究支援を行っていただく「学術推進職」を募集しています。</p> <p>この職に求めるスキル、マインドのイメージは次のようなものです。</p> <p>○脱炭素関連分野に関する専門的知識をある程度有しており、脱炭素ユニットに所属する研究者の研究支援やコーディネート業務などに意欲・関心がある方。</p> <p>○未来社会デザイン統括本部に所属する研究者と積極的にコミュニケーションを取りながら、様々な分野に興味関心をもち、社会的課題の解決に貢献する研究成果の創出や社会実装の実現に向けて、主体的に業務に取り組んでいただける方。</p> <p>例えば以下のような方の応募を歓迎します。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・企業や大学等研究機関で培ってきた長年の専門的知識や経験を生かして、本学の研究者と協働して社会的課題の解決に取り組む意欲のある方</li><li>・企業や大学等研究機関での業務経験は浅い（または無い）が、上記スキルやマインドをもっており、フットワーク軽く自ら主体的に動き、学内の様々な研究者をつなげたりサポートしていくことに意欲・関心がある方。</li></ul> <p>皆様からのご応募をお待ちしております！</p>
2. 担当業務内容 ※求人業務内容	<p>【未来社会デザイン統括本部 学術推進職（学術推進専門員）＜脱炭素ユニット担当1名＞】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・採用予定日：令和7年1月1日以降できるだけ早い時期</li><li>・雇用期間：3年間（博士課程修了者など、労働基準法第14条に該当する場合は5年間）なお、雇用期間における業績を評価した結果により、雇用期間を更新する場合があります（本学における通算雇用期間が10年となるまで。）。</li><li>・本学の定年は65歳です。</li></ul> <p>◆本学の未来社会デザイン統括本部（以下「FS本部」）に関わる次のような業務を担当する。</p> <p>1. ユニット内、ユニット間の学術推進活動</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・担当するユニット内の研究動向や研究成果を把握し、新たな価値の創造につながる取り組みを企画・実践するとともに「特別な活動」のシーズ・ニーズを結び付け、アイデアの具現化を行う。</li><li>・ユニットからのニーズを把握し、他ユニット担当の学術推進職等と協力して、ユニットを跨ぐ学際的研究・教育、および産学官連携の企画・調整を行う。</li><li>・ユニット主催の研究会等の企画、運営を行うことで、ユニットの活動を支援する。</li><li>・その他、ユニットにおけるコーディネート業務を行う。</li></ul> <p>2. FS本部全体の学術推進活動</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・学内外へのFS本部の活動見える化（ウェブサイト充実、その他情報発信）を検討、実施する。</li><li>・FS本部主催のシンポジウム等の企画、運営を行う。</li><li>・FS本部ディレクターとの連携、協働により、社会的課題の解決に向けたユニットをまたぐ取組・活動を検討、実施する。</li></ul> <p>※FS本部全体の学術推進活動については、企画部社会共創課及び他の学術推進職と連携、協働して実施します。</p> <p>また、他のユニット担当の学術推進職も含め、本人の能力、適性に応じて業務を割り当てることがあります。</p> <p>※今後、FS本部及び各ユニットの活動の進展に応じて、業務エフォートの割合は変更することがあります。</p>
3. 応募資格	<p>次の(1)(2)のいずれかに該当する者</p> <p>(1) 特定の分野において専門的な知識及び能力を有し、博士又は修士の学位もしくは専門職学位を有する者</p> <p>(2) 特定の分野における業績により (1) に準ずると認められる者</p>
4. 勤務場所	〒819-0395 福岡県福岡市西区元岡744番地 九州大学 伊都キャンパス 共進化社会システムイノベーション施設
5. 勤務時間	9:00～17:45（内 休憩時間60分）
6. 休日・休暇	土日祝日、年末年始、年次有給休暇、夏季休暇
7. 給与・賞与	職歴等に応じて国立大学法人九州大学高度専門職員給与規程の範囲内で年俸を決定し、年俸の1/2分の1の額を毎月21日に支給します。（通勤手当あり・賞与なし） <年収400～600万円程度（年俸制）>
8. 待遇・福利厚生	雇用保険、労災保険、共済組合、厚生年金
9. 提出書類等	<p>【提出書類】</p> <p>①履歴書1部、②職務経歴書1部（A4版2頁以内）、③志望動機及び今後の活動に関する抱負（A4版2頁以内）、④英語力（TOEIC、TOEFL、英検等）が証明できる書類がある場合はその写し</p> <p>※①は本学様式をご使用ください。②～③は、任意様式可。</p> <p>九州大学未来社会デザイン統括本部WEBサイト【<a href="https://in2fs.kyushu-u.ac.jp/">https://in2fs.kyushu-u.ac.jp/</a>】からダウンロードの上作成ください。</p> <p>【応募締切】</p> <p>令和6年8月27日（火）17時まで</p>

10. 選考方法	<p><b>【選考方法】</b></p> <p>(1)第一次選考 書類選考  ※書類選考後、面接日時、場所をご連絡いたします。</p> <p>(2)第二次選考 9月中旬～10月上旬の間での実施を予定（面接・業務経験の聴取を予定）  ※これまでの業務経験、志望理由、FS本部の業務に関する抱負等について、プレゼン資料4～5枚を用いて15分程度で説明していただきます。  ※プレゼン資料の提出期限は面接日時等とあわせてご連絡いたします。  ※面接試験等実施場所：九州大学（伊都地区：福岡市西区元岡744番地）  なお、面接はオンラインで実施する場合があります。</p> <p>(3)その他  ※九州大学では男女共同参画社会基本法（平成11年法律第78号）の精神に則って選考を行います（男女共同参画推進室：<a href="http://danjo.kyushu-u.ac.jp/">http://danjo.kyushu-u.ac.jp/</a>）。  ※九州大学では「障害者基本法（昭和45年法律第84号）」、「障害者の雇用の促進等に関する法律（昭和35年法律第123号）」及び「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律（平成25年法律第65号）」の趣旨に則って選考を行います。  ※面接に伴う交通費等、応募に係る費用は自己負担となります。</p>
11. 応募書類送付先及び問合せ先	<p><b>【応募書類送付先】</b></p> <p>（応募書類をメールで送付する場合）  ・件名を「九州大学FS本部学術推進職&lt;脱炭素ユニット&gt;応募」として、電子ファイルでの送付を希望する旨を下記メールアドレスまでご連絡ください。こちらから共有フォルダ用URLをご連絡いたしますので、応募書類をアップロードください。</p> <p>（JREC-INサイトから応募する場合）  ・JREC-INサイトから直接応募することも可能です。その場合、提出書類全てを1つのPDFファイルとしてまとめてアップロードください。</p> <p>※応募書類は返却しませんので予めご了承ください。  なお、応募書類等により本学が知り得た個人情報、今回の選考及び採用のためにのみ使用いたします。</p> <p><b>【問合せ先】</b>  九州大学 企画部社会共創課共創企画係  TEL: 092-802-2447 / E-mail : kisykikaku@jimu.kyushu-u.ac.jp</p>
参考) 未来社会デザイン統括本部について	<p>九州大学は、2021年11月に今後10年間の大学の方向性、方針を示す「Kyushu University VISION 2030」を策定・公表し、目指す姿として「総合知で社会変革を牽引する大学」を掲げ、その実現に向けて社会的課題解決とDX（Digital Transformation）の推進に取り組み、社会変革に貢献することを宣言しています。</p> <p>基幹総合大学である九州大学は、自然科学から人文社会科学に至る広範な学問分野とともに、新しい社会の仕組みをデザイン・提案する「芸術工学分野」を国内総合大学で唯一有しています。この他大学には無い新たな社会的価値を生み出す特色ある基盤を生かして、社会的課題の解決に必要な総合知を生み出し、社会変革に貢献することを目標に、「未来社会デザイン統括本部」を2022年4月に設置しました。</p> <p>今世界には、気候変動や生物多様性の損失、貧困や格差、紛争や人権侵害など、複雑で困難な社会的課題が溢れており、2015年の国連サミットでは17の国際目標（SDGs）が採択され、世界各国の政府や自治体、民間企業等が目標達成に向けた取組を展開しています。また、このような状況に加え、新型コロナウイルス感染症のパンデミックにより、全世界の社会・経済が大きな影響を受け、社会・経済システムの変革と再構築が強く求められている中、多様な「知」と「人材」が集まる大学には、新たな価値創造の基盤となる先端研究とイノベーションの創出を牽引することが期待されています。</p> <p>新たに設置した「未来社会デザイン統括本部」を中心に、自然科学と人文社会科学、さらにはデザインなど多様な研究領域の知を集結して、まずは「脱炭素」「医療・健康」「環境・食料」の社会的課題を中心に、その解決に必要な「理想とする未来社会」と「未来社会に至るプロセス」をデザインし、様々な研究成果を組み合わせることで、多様化・複雑化する社会的課題の解決に貢献していきます。</p> <p>※未来社会デザイン統括本部の詳細は、<a href="https://in2fs.kyushu-u.ac.jp/">https://in2fs.kyushu-u.ac.jp/</a>をご参照ください。</p>